



# 森ボラ 通信

第262号 2024年3月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター  
TEL (fax.): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

## ■ 活動報告

### ◆2023年度第6回親子森林教室活動報告

#### —— 活動テーマ:木を切る ——

当初開催予定の11日は大雪警報の為一週間の延期になりましたが、2月18日(日)参加者の日頃の行いの良さか、気温も上昇し青空が広がる快晴となりました。

参加者のキャンセルがあり、森しり隊6家族、隊員10名と保護者7名、森ボラ協会員は12名で開催されました。朝礼とラジオ体操の後に、スノーシューを装着、木を切る目的地(E-8地区)へいざ出発。

途中、雪の上に残る動物の足跡を調査。一直線についている足跡は?小さな前あしの指の形があるのはエゾリス?雪の上の足跡が消えて木に登った?協会員の人と一緒に探りました。

木を切る体験です。最初にチェーンソーで傾斜しているシラカンバを伐倒する作業を見ます。木を切る時の基本の説明、安全確認、避難などの説明があり伐倒。掛かり木になり、倒れた時の地響きを感じることは出来ませんでした。



木を切る体験

3班に分かれ隊員が木を切る体

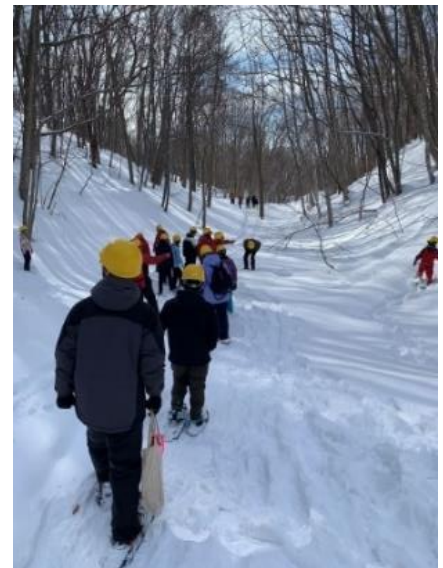
験です。班長が手鋸で切り方を実演のあと、家族ごとに整理伐対象の番号の木を探します。チョークで受け口、追い口の印を付けてのこぎりと鉋を使い作業開始。倒した木をカットして片付けします。木を持ち帰りインテリアにするという家族、アイデア楽しみです。

イタヤカエデの木をきると樹液ができました。樹液をなめるとほのかに甘い味わい、木の根本周りの雪が解けるのを、根開き、根回り穴と呼ばれ春近しです。

終礼では、次回3月は修了式、感想文提出の説明。あっという間の一年間でした。

その後、希望者はソリで雪のすべり

台、途中でジャンプ、かなり急な坂です。ケガもなく無事に迫力あるソリ遊びができて一安心でした。コースアウトで薪小屋にソリが飛び込んだら・・・心配性の(文・平)



動物の足跡調べ



ソリ滑り

### ◆第3回冬季セミナー報告

#### ——会員例会：森ボラ財政状況 R6多面種 講演：outwoods 足立成亮氏——

立春も過ぎた2月13日札幌エルプラザにて約20名の参加で第3回冬季セミナー例会がありました。前半は森ボラのお財布事情の説明がありました。長く続くセミナーの歴史の中でこの様な内容のお話は初めてではないでしょうか。私事ですが恥ずかしい話、幹事会で会計報告を聞いても理解困難でお金の流れがよく分かりません。



R6多面の説明:大窪さん



財政の説明:清澤さん

私たちの活動の主な財源が国及び各種団体からの助成や企業からの寄付金で賄われていますがそれが今後先細りの傾向にあるようです。2, 3年前の20周年記念事業の頃の話が夢物語で、これからの活動を安定して維持発展させるためにはどうしたら良いのか協会のこれからの課題です。

後半は澄川環境林北地区の作業道新設を担当し、市内西区小別沢で森と人の共生を目指して行動するoutwoodsの足立

成亮(しげあき)氏のお話でした。その多彩な仕事ぶりが写真で紹介されました。

その一つが林道造りでお米造りに土造りが必要な様に健全な森林を育成し機能を発揮させるには作業道造りが重要でいかに森に負荷をかけず優しく効率的に長く使える道を作るか育林と並行して考える必要があります。この仕事は森の破壊と紙一重で特に小規模な所では実情に合わせた工夫が求められます。そこに足立さんの手腕が現れます。



講演:outwoods 足立さん

もう一つ大きな仕事が札幌南高校の学校林の管理です。清田区白旗山の一角に明治以来百年以上の歴史とカラマツを中心とした120haの面積です。人工林の百年の変遷に興味津々で学校林が青少年教育にどんな役割を果たしているのか知りたいものです。自然との共存共栄を目指す孤独な木こりのライフスタイル、若い足立さんの活動内容は多方面にわたりこれからも広がることでしょう。(文・加藤)

### ◆親子森林教室“森しり隊”2024年度(9年目)の取組み

2016年に始まった親子森林教室“森しり隊”はこの4月から9年目に入ります。2023年度はヒグマ騒動で夜間のホテル観賞や野幌の植樹祭が出来なかったアクシデントがありましたが、コロナ禍も何とかぐり抜け8年間の子どもの参加は延べ630名、保護者等を含めた外部からの参加者は延べ1,241名に及んでいます。

親子森林教室がめざすものは、1つは子どもたちに「木や森を知ってもらう」ことです。それは五感で木や森の変化を捉え、森の役割や手入

親子森林教室の参加人数の推移

(人)

	子どもの参加人数	1年間の延べ参加人数				合計
		子ども	保護者等	小計	協会員	
2016年度 第1期	11	53	52	105	109	214
2017年度 第2期	17	100	79	179	115	294
2018年度 第3期	9	47	46	93	115	208
2019年度 第4期	15	83	82	165	98	263
2020年度 第5期	12	68	86	154	124	278
2021年度 第6期	25	122	135	257	123	380
2022年度 第7期	14	82	65	147	103	250
2023年度 第8期	18	75	66	141	74	215
8年間の合計	121	630	611	1241	861	2102

(注)2016年度は年6回、2020年度は年8回、2023年度は年6回、その他年度は定例の年7回開催

れが必要なこと、森に棲む生きものと共生していることを知ることです。

2 つ目は「森を育てる活動を体験する」ことです。苗木を育てて森に植え、下草刈りをして、傾いている木や混んでいる木を切って森を生き生きさせる活動を体験し、その活動が森にとって大切なことを学びます。

そして、3 つ目は「森の豊かさを感じ大切に思う」ことです。森の木で工作をし、キノコの菌を植えて収穫し、コクワや樹液を味わい森の恵をいただきます。こうした森の活動を通して、次世代を担う子供たちが環境保全の心を芽生えさせ育んでもらうことをめざしています。

2024 年度 9 期目の参加者は 12 家族 17 名（新規 16 名・継続 1 名、森しり隊員 13 名・ジュニア隊員 4 名）です。1 年間の活動スケジュールは一日 2 活動を基本に、一部変更して次表の通り予定しています。

## 2024年度 親子森林教室の 1年間の活動スケジュール

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
開催日(日曜日)	2024年4月21日	6月9日	7月14日	9月8日	10月13日	2025年2月9日	3月9日
場所	澄川環境林	澄川環境林	澄川環境林	野幌森林公園	澄川環境林	澄川環境林	澄川環境林
活動テーマ	森に触れる	木の種をまく	工作をして夜の森を探検する	木を植える	森の運動会に挑戦する	木を切る	森の目覚めを感じて1年間のまとめをする
主な活動項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開校式を行う</li> <li>・早春の森歩き・早春の森歩き</li> <li>・キノコの菌を植える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の種をひろって苗畑にまく</li> <li>・森の活動選択コース</li> <li>①川の生きもの調査</li> <li>②草花の観察</li> <li>③ロープ遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下草刈りをする</li> <li>・森の木で巣箱や木エクラフトを作る</li> <li>・コウモリの話を聞いて、夜の森でコウモリとホテルを観察する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森しり隊植樹祭で木を植える</li> <li>・野幌の森歩きとこれまでに植えた木を保育する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の森の大運動会をおこなう</li> <li>・森の活動選択コース</li> <li>①薪割り</li> <li>②木登り</li> <li>③コクワ採り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の森を歩き、動物の足跡を観察する</li> <li>・チェーンソーで木を切るのを見学する</li> <li>・立木をノコギリで切ってみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹液を取って味わう</li> <li>・冬芽の観察</li> <li>・修了式を行い、1年間のまとめをする</li> </ul>

2024 年度の親子森林教室はまもなくスタートします。言うまでもなく教室は協会の皆さんに支えられて運営されており、共に活動する“先生”は皆さんです。ご協力をよろしくお願いいたします。（文・清澤）

## ■ 澄川の自然 55

### エゾヤナギ(ヤナギ科)

2 月末活動日、駐車場から広場に向かう下り坂の手前に、茶色の小さな花ビラの様なものが、白い雪の上にちらばっていました。何かと拾ってみると、ふっくらとしたカーブが付いた丸いものです。何気なく上を見上げると柳の白い芽が枝先に咲いて揺れています。

3 月 1 日の活動日、もう一度確認してみました。2、3 日たっているのに、少しふっくらさが大きくなった様に思います。それにしてもまだ 3 月になったばかりで、寒い日が続いていますが 2 月中旬頃、一時春を思わせる暖かい日が続いたので、狂ってしまったのでしょうか。

それにしても春一番のこういう春芽を見られる時期になってきたのですね。ヤナギは雌雄異株、この芽は雄花の様に見えます。この日は風が強く、三橋さんは枝先に焦点が定まらなくて苦労して撮ってくれた様です。写真/三橋・文/西野(澄)



## ■今月の幹事会

出席者(3/6):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・松藤・矢野・西野(澄)・平・早坂・老田

1. 2024年4,5月活動スケジュール(4月幹事会4/10(水)):了承。雪解けの状況により変更有。
2. 2024年2月会計報告:了承。新たにスノーシュー5セットの発注を行う。
3. 2024年度森林・山林多面交付金事業計画:了承
4. 2023年度第7回親子森林教室開催報告:了承
5. 澄川北地区作業道延伸計画:作業道工事時期、間伐の要領などについて札幌市と打合せ必要。
6. 2024年度の活動体制:了承
7. 2024年度活動計画(会員例会資料):了承
8. 現場報告 ・澄川整理伐状況:了承
9. その他 ・森ボラ新ホームページ進捗報告:2月の訪問数1,374件。了承  
・いろはすキャンペーン進捗報告:多額の寄付受領予定。  
・機器管理者の変更:了承

## ■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
2月18日(日)	澄川	12	第6回親子森林教室(スノーシュー体験、木を切る)
2月19日(月)	澄川	7	A-3 樹木園整理伐/・集材
2月22日(木)	澄川	13	自然観察会(B-1, E-6)、A-3 樹木園整理伐(最終)
2月25日(日)	澄川	10	道具類移動(A-3⇒E-8)、樹液採取準備
2月26日(月)	澄川	6	北地区右岸側作業道延伸予定ルート踏査(札幌市緑の管理課3名、やまのかいしや足立さん他1名同行)
2月27日(火)	澄川	12	じょうてつCSR活動、E-8 整理伐・集材
3月1日(金)	澄川	11	E-8 整理伐・集材・残対象木確認、樹液採取
3月3日(日)	澄川	10	第7回親子森林教室(樹液採取、冬芽観察、修了式)
3月6日(水)	ラルズ本社ビルB1会議室	11	幹事会
3月9日(土)	北農健保会館3Fライラック (中央区北4西7)	20	第4回冬季セミナー 会員例会「今年度の反省と次年度計画」(松藤)、「水質調査」(本郷) 講演「自伐林業他」(大西林業代表 大西潤二氏)
3月10日(日)	澄川	11	E-8 整理伐、モクソグ地選木、コクワ蔓整理
3月13日(水)	澄川	13	E-8 整理伐・集材、整理伐材選木勉強会、樹液採取
3月15日(金)	澄川	11	E-8 整理伐・集材・整理伐材選木、樹液採取